

## ベンゼンの米国向け輸出の開始について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、去る8月12日、当社知多製油所(所在地:愛知県知多市、所長:松岡純司)から米国へ向けてベンゼン(3,000トン)を輸出しました。ベンゼンを大型船にて直接米国へ輸出するのは国内石油会社として初めてです。
2. 当社は、知多製油所においてベンゼン専用大型タンク(25,500KL×2基)や10万トン級タンカーが着岸可能な出荷棧橋を整備し、本年4月から当該タンクのスペースを貯蔵・出荷用として第三者へ賃貸する事業を行っています。
3. これまで日本のベンゼン貯蔵・出荷設備は脆弱であったため、アジアから米国へのベンゼン輸出は、大型設備を有する韓国からのものが大半を占めていましたが、当社がこれらを整備したことで、大型船による日本から直接の輸出が物理的に可能となりました。
4. 一方、米国のベンゼン市況は、本年5月以降、アジア市況を上回る状況が続いています。足下の価格差は200ドル/トン程度に拡大し、輸送費を考慮してもアジア域内での販売より採算面で有利な状況にあり、当面この傾向が続くと見込まれています。
5. 当社は、従来のアジア域内でのベンゼン販売に加え、米国を始めとするアジア域外への輸出を日本のベンゼンメーカーにとっての新たなビジネスモデルとして強化してまいります。

以上

### ● 【参考資料】ベンゼンの米国向け輸出の様子

